

暮らしの？

kurashi no hatena

ハテナ

壁も床も家具も洗練された白が基調。モダンで清潔感に満ちたこのお宅にBさん夫妻は6カ月前から住んでいる。奥さんの実家に引っ越してくるのにあたり、リノベーションした物件だ。

「実家は寒くて、暗かったんで

外に渡って床から天井までの大きな窓ガラスを入れて、二重サッシにした。さらに、ベランダとダイニングをつなぐサンルームも設けた。

「格段に明るくなりました。目の前が公園なので緑を借景にできます。結果的に、北に面していること

イメージ明確に悩み解消

す。まず、その悩みを解消しようと思いましたが」と奥さん。主な窓が北面にしか取れず、その上プライバシーを考慮してか、すりガラスを入れていたため採光もしづらかった。

そこでリノベーションにあたってリクエストしたのは、北面の窓をできるだけ大きくとること。東西約7

で日差しがきつすぎることもなく、柔らかい光を取り入れることができたのも良かったですね」。好きな色だったという白色を壁や床にも使ったことで、窓からの光を反射して部屋の明るさを際立たせる。

もともとあったダイニングと和室の仕切りを取り払い、部屋をつなげ

リノベしました



白を基調にした部屋。大きな窓とサンルームから光を取り入れて明るい印象に

Arts&Crafts

大阪市天王寺区 築33年

て約42平方メートルのダイニングにしたリ、部屋にも転用できる広めのウォークインクローゼットを作ったり。子供も独立して2人で暮らす夫妻にぴったりの、ゆったりとした間取りになった。一方で、仏間はそのまま引き継いだ。完全な和室ではなくあったが、仏壇の前に畳を敷いた小上がりを作っている。

「リノベーションをするにあたって、はっきりとしたイメージを持ってお願いしました。それが実現しました」。住んで半年のBさん夫妻、満足そうに話している。

昭和56年築のマンション。専有面積は約97平方メートル。リノベーション費用約1700万円。

大阪市西区京町堀1-13の24、☎06-6443-1350

「リノベーション(リノベ)」とは、既存の建物を大規模改修し、価値を高めること